

甲府工業高等学校(全日制)に 機械・電子系の専攻科を設置します

山梨県教育委員会 高校改革・特別支援教育課

山梨県の基幹(主な)産業である機械・電子産業に人材を送り出すため、機械、電気・電子の知識・技術・技能等をより深く学ぶことができる甲府工業高校全日制専攻科を**平成32年4月**に設置します。

1. 新しい甲府工業高校専攻科とは？

工業系高校(県内では韮崎工業高校、甲府工業高校、甲府城西高校、峡南高校、都留興譲館高校、富士北稜高校)で機械系又は電気・電子・情報系に関する科目を25単位以上修得して卒業した後、機械、電気・電子の専門分野を更に深め、資格取得や高度な知識・技能を身につけるために、2年間学ぶ学科です。定員は、1学年20名で機械系15名、電子系5名です。

企業の製造部門における技術者のうち、設備や工程の設計、生産準備、生産性の検討等を担うことができる人材を育成し、即戦力として企業の現場で中心的な役割を果たすことを期待しています。

2. ものづくりのエキスパートを育成する実習を強化した教育体制

多くの企業では設備設計、品質管理等を行うことができるハイレベルな製造技術者を求めています。甲府工業高校専攻科の授業では実習の時間を多く設け、デュアルシステム(3.の解説を参照)による長期の企業実習(インターンシップ)を行うことにより、在学中に現場で対応できる実践的な力を身に付けることができます。

指導者には、民間企業の各分野の専門家や、大学の先生方などを外部講師としてお招きし、企業の第一線での取組や最先端の研究に触れることができるよう計画しています。

3. デュアルシステムとは？

専攻科の授業で学んだことを企業実習で実践したり、企業実習で学んだことを専攻科の授業等でさらに深く学ぶことを言います。デュアルシステムでは、実践的な能力を身につけることができます。また、生徒・企業の双方にとって、お互いを良く知ることができる機会となりますのでミスマッチが少なく、就職後の定着につながります。

1年生の企業実習では、一人の生徒が1社につき週1日、3週にわたる実習を計画しています。半期で5社を訪問して、設計から加工・製造・検査までの一連の工程管理を学習しながら様々な企業現場を経験します。2年生の修了研究では、専攻科の教員による指導を受けながら、就職内定先企業からも指導や協力をいただいて課題作品を完成させて、その成果発表会を行っていきます。

4. 専攻科に入学するには？

機械系又は電気・電子・情報系に関する科目を25単位以上修得して高校を卒業した方が、受検することができます。専攻科では、工業系高校の3年間と専攻科の2年間を合わせた5年間の工業教育により、より高度で専門的な知識や技術等を身に付けます。そのため、入学時の適性を判断するために筆記・実技・面接の選考検査を行います。実技検査については、技能検定(国家資格)を取得した方の免除を計画しています。

5. 専攻科の修了後の進路は？

専攻科は卒業ではなく修了になります。

ほとんどの企業は、専攻科の修了生を短大卒相当の処遇で採用します。また、専攻科での学習内容を活かした職種で採用されるように企業と調整を行っています。

大学編入については制度が改正され、専攻科修了生の編入が可能となりました。現在は、編入の条件等について確認・調整を行っています。

専攻科と中学校の関係と専攻科修了後のイメージ



- ・製造技術者の中でも、職場のリーダー的存在
- ・技能と技術を併せ持ち、主に設計（設備や工程の設計、生産準備、生産性の検討）等を担う

地元企業（機械・電子産業を支える技能者・技術者）

